

令和7年度 赤野井湾での取り組みについて

1. 漁場環境の再生

→ 漁場生産力・水産多面的機能強化対策(国事業)を活用

- ・漁業者を中心とした活動組織による様々な活動を支援
- ・赤野井湾では以下の3点を中心に実施

- ①湾口部での湖底耕うん(水草根こそぎ除去)
- ②ヨシ帯等での外来水生植物駆除やゴミの除去
- ③外来魚の駆除

2. 水産資源の回復

→ 種苗放流と放流効果の検証

- ・湾周辺の水田に①、②のとおり放流
- ①ニゴロブナ・ホンモロコ(平成28～令和2年)
- ②ニゴロブナを放流(令和3年～)

・ホンモロコは近年急激に資源が回復していたが、**R7のエリの漁獲尾数は減少**

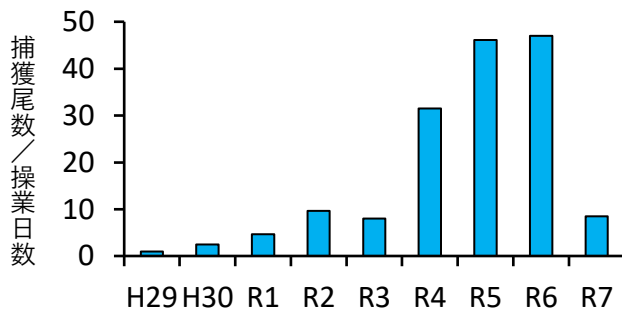
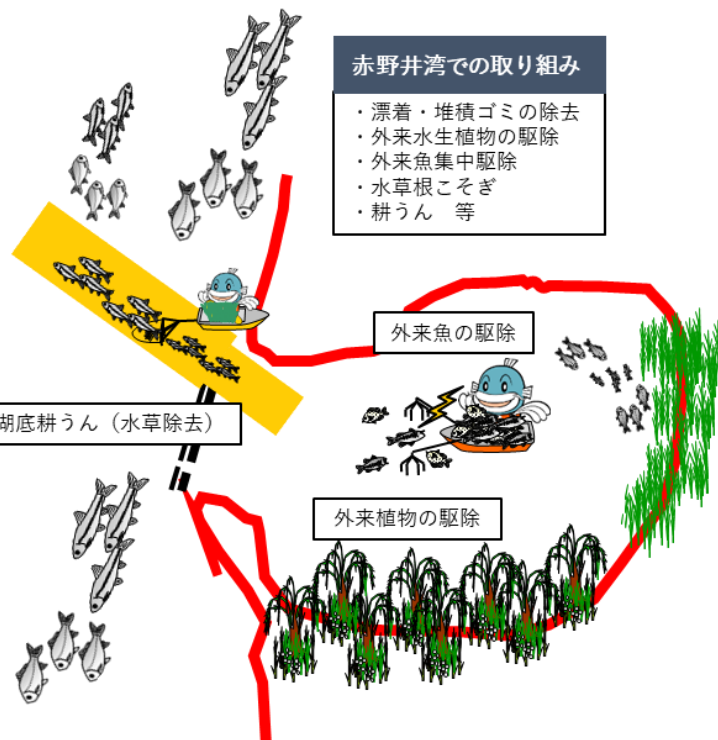
→近年ホンモロコの小型化や痩せ等がわかっており、状況を注視していく

・ニゴロブナは放流魚の生き残りが急激に改善

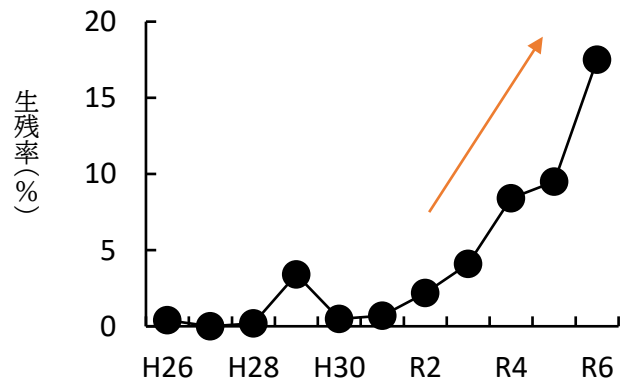
3. 真珠母貝のモニタリング調査

→蓋付コンテナを用いて生産した真珠母貝の稚貝を真珠棚に垂下し、成長・生残率のモニタリングを実施

・令和6年に生産した稚貝の成長・生残率は良好



エリでの操業1日1たりのホンモロコ捕獲尾数



赤野井湾に放流したニゴロブナの冬季までの生残率



蓋付きコンテナを用いて生産した稚貝



稚貝の成長・生残率のモニタリング